

総合講座での学び

令和6年1月24日(水)

総合的な探究の時間の授業は、「総合講座」として全校生徒が6つの講座に分かれて学習をしていますが、本日、「故郷（ふるさと）探検講座」では、「薬種商の館 金岡邸」を見学し、「国際理解講座」では、富山県国際交流員による出前授業を行いました。

<故郷探検講座>

薬種商の館 金岡邸へ1, 2年生18名で見学に行きました。

これまで取り上げなかった、薬都・富山の歴史について事前学習し、今回は薬種商、売薬さんとはどんな職業だったのかを学びに行きました。

職員さんが丁寧に説明され、原料となる生薬にはセミの抜け殻や昆虫、動物の胆のうや角など様々な原料があることに、生徒は驚いていました。

説明の後、自由に観覧し、金岡家が富山県の経済、産業の発展に大きく関わっていることなどもわかりました。

今年度は5回の校外学習を行いました。その中で班ごとに決めた探究テーマについて各々が資料を集め、班内でまとめ、研究発表するという取り組みを1年かけてやってきました。膨大な資料から発表で伝えたいことを絞ってまとめるという作業に苦労しましたが、協力し合って取り組むことができました。来年度へつなげていきたい取り組みだと思っています。



【多くの資料を見学】

<国際理解講座>

富山県国際交流員のアリス・リースさん（アメリカ・ニューメキシコ州出身）とバーガワトゥラ・シリラリティアさん（インド・アンドラプラデシュ州出身）による出前授業を行いました。

アリス・リースさんには、アメリカの自然や文化、ニューメキシコ州の見どころなどについて紹介していただきました。

また、バーガワトゥラ・シリラリティアさんには、インドの南部地方で富と幸運の神様を招こうと、毎朝、女性が玄関前に米粉で描く模様「コーラム」について紹介していただきました。最後に生徒は、実際に黒い画用紙の上に米粉でコーラムの幾何学模様を描きました。



【アリス・リースさんのお話】



【コーラムを描く体験】